

2025年度 第2回 学校運営協議会

1 日時 2025年（令和7年）10月17日（金） 14:00～15:50

2 場所 図書室

3 参加者

上野 リサ	地域学校協働活動推進員・デザイナー
古山 貴規	経済産業省
平岩 千尋 (オンライン)	学校医
羽田 知世	さくらホーム
細田 晓 (オンライン)	横浜国立大学教授
江竜 陽子	TAU GRAPHIC アートディレクター
友瀧佳司之	福山市立鞆の浦学園 校長

4 内容

（1）授業参観

（2）学校の取組説明

- 学びの充実に向けて、一人一人の学びやつまづき等を把握し、ユニバーサルデザインの考えを生かした授業改善に取り組んでいく。
- 学校全体で授業改善を図り、APDCA サイクルを確立し、取組を推進・共有・交流していく。
- 「鞆学」の充実に向け、課題設定がよりよくなり、探究の質が高まるように、取組の価値づけの方法など校内研修を行い、手立てを充実していく。

（3）学園会との交流

- 学園会役員として行ってきたこと
- 公約実現に向かっての取組
- 取組を行っての感想

（4）質疑・応答、意見交換

- 授業参観では、低学年は楽しそうに学び、高学年や後期課程では真剣に学ぶ姿が見られた。
- 学習の姿だけでなく、掲示物や学習の足あとなども学年の成長を感じられてよい。
- 取組の中で、ユニバーサルデザインの視点を入れているのはとても大切だと感じる。一人一人に向き合った学びを展開してほしい。

- ・APDCA サイクルで、分析を学校全体で行い、計画・実行・評価・改善のサイクルを行い、基礎学力の定着と生きた知識を使った探究に取り組んでほしい。
- ・授業は学校主体で行い、CS メンバーは学び深めるために学校を支えていくことが大切。
- ・子ども達は、親しみをもって接してくれ、礼儀もあり、ちょうどよい距離感。子ども達から教えてもらっていることが多い。
- ・先生達が楽しそうに授業していることが、子ども達のいきいきした姿につながるので、先生達に元気に働いてほしい。

(5) 事務連絡

- ・次回の連絡

第3回学校運営協議会 2月 13 日（金）14:00～15:50